

ナブテスコ株式会社

2024年12月期第3四半期 決算説明会資料

2024年10月31日

代表取締役 専務執行役員
波部 敦

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値、比率は四捨五入して表示しています。
本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

2024年12月期 3Q累計実績

- 連結売上高：2,298億円 （前年同期比 -5.6%）
- 連結営業利益： 96億円 （前年同期比 -25.6%）

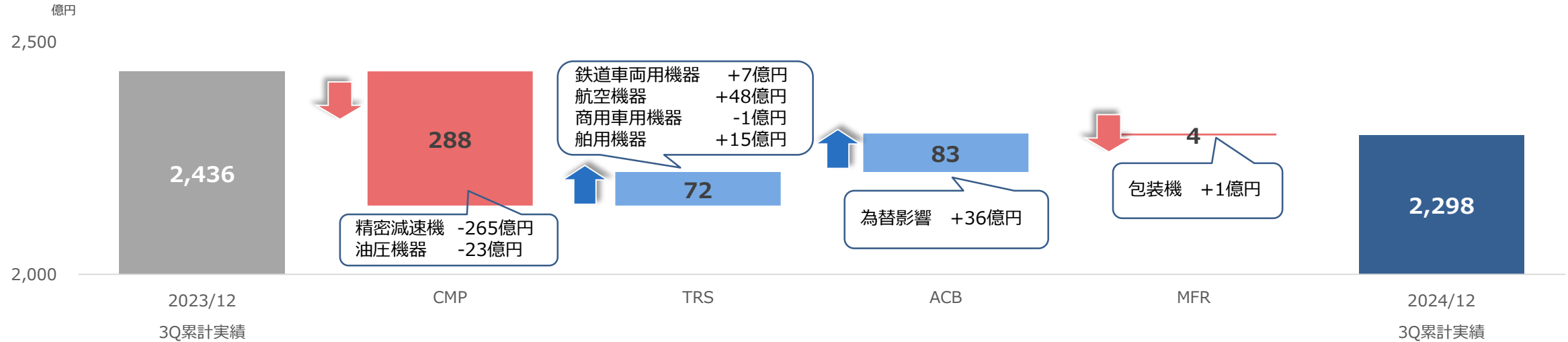
2024年12月期 通期計画

- 変更なし

計画に対する進捗率
売上高 71.0%
営業利益 71.4%

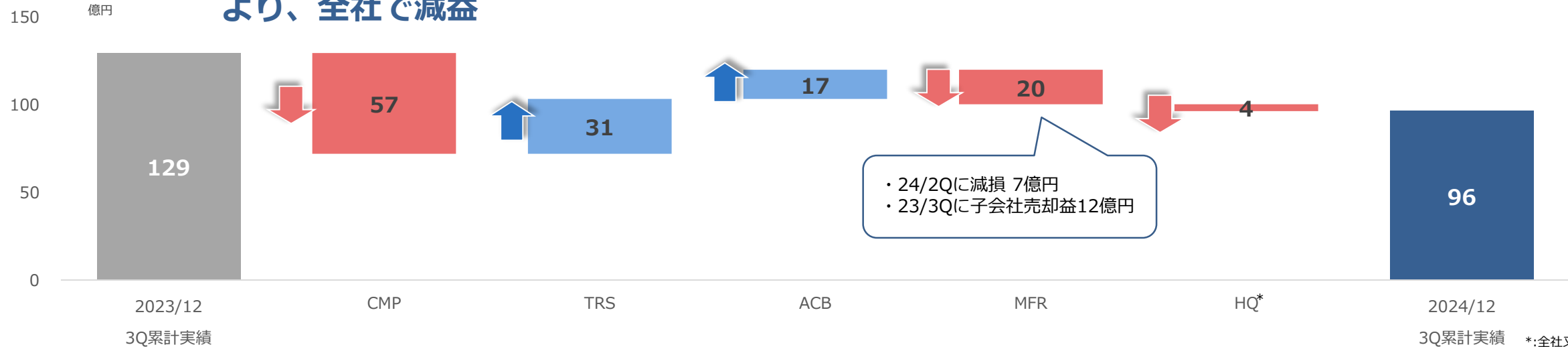
売上高

■ TRSやACBでの需要好調による増収はあるものの、主に精密減速機の需要減少を受け全社で減収



営業利益

■ TRSやACBの増収による増益があるものの、CMPでの減収による減益やMFRでの減損の影響により、全社で減益



■ 前年同期比では減収減益。通期計画に向けて売上高、営業利益は概ね順調に進捗

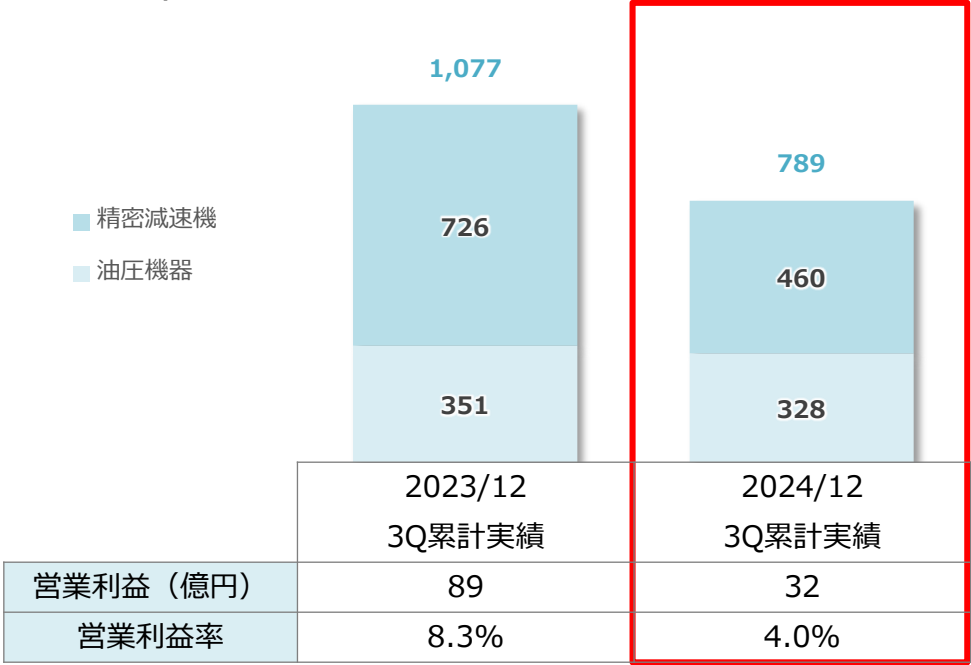
(単位：億円)	2023/12	2024/12	差異
	3Q累計実績 (A)	3Q累計実績 (B)	(B-A)
売上高	2,436	2,298	-138
営業利益	129	96	-33
(営業利益率)	5.3%	4.2%	-1.1pt
金融損益	47	-2	-49
(うちHDS ^{*1} 評価益)	35	-	-
持分法投資利益	34	5	-29
税引前利益	211	99	-111
当期利益 ^{*2}	133	57	-76
一株当たり当期利益（円）	110.74	47.12	-63.62

2024/12 通期計画 (C)	進捗率 (C/B)
3,237	71.0%
135	71.4%
4.2%	

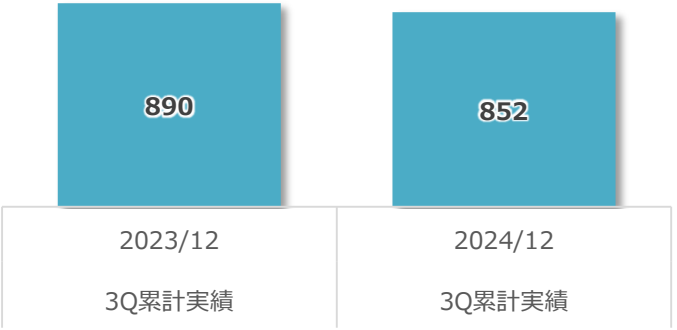
*1 HDS : Harmonic Drive Systems
*2 親会社に所属する当期利益

コンポーネントソリューションセグメント（CMP）

売上高(億円)



受注高
(億円)



セグメント業績（前年同期比）

事業	業績	
精密減速機	ロボット向け	EVをはじめとした設備投資需要低迷、完成ロボットの在庫調整が継続し減収
	FA向け	設備投資需要が弱く減収
油圧機器	中国市場	中国需要の低迷が継続し減収
	中国市場以外	欧米市場が低迷し減収
営業利益	減収による減益	

通期見通し

事業	市場環境
精密減速機	計画から変更なし。 ロボット向け在庫調整は継続し、2025年頃の本格回復を想定
油圧機器	中国市場需要に底打ちの兆し (24年1-9月 中国建機販売台数*1 : YoY -1%)

*1出所：中国建設機械工業会

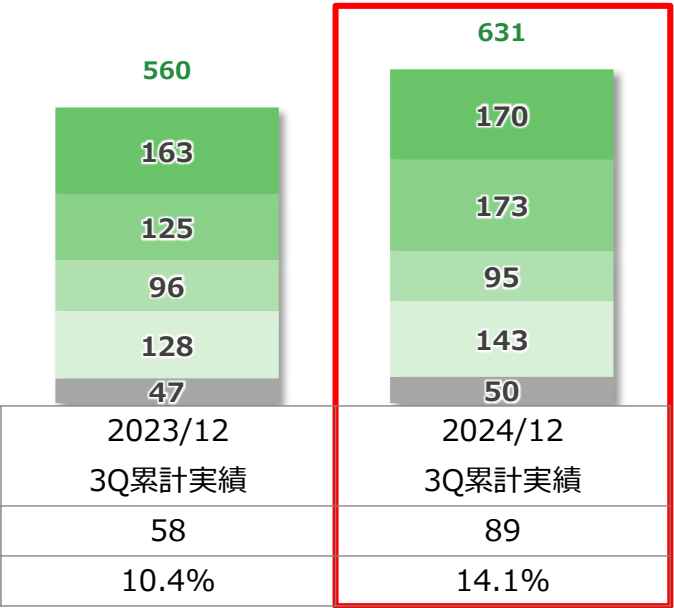
Project 10の進捗

- ・ Project 10の見込み通り24年度の価格転嫁交渉妥結
売上減少により24年度の利益への貢献は限定的
- ・ 24年8月から浜松工場稼働開始。
自動化工程の立ち上げによる生産性向上の取り組みを推進中
- ・ 油圧機器の中国工場と販売会社を統合し、事業効率を改善

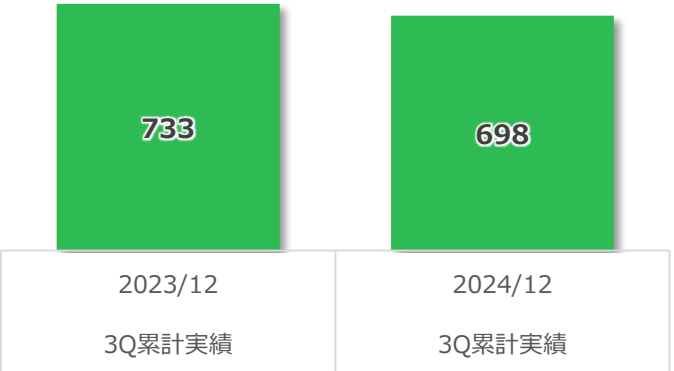
トランスポートソリューションセグメント（TRS）

売上高(億円)

- 鉄道車両用機器
- 航空機器
- 商用車用機器
- 舶用機器
- その他



■ 受注高
(億円)



■ セグメント業績（前年同期比）

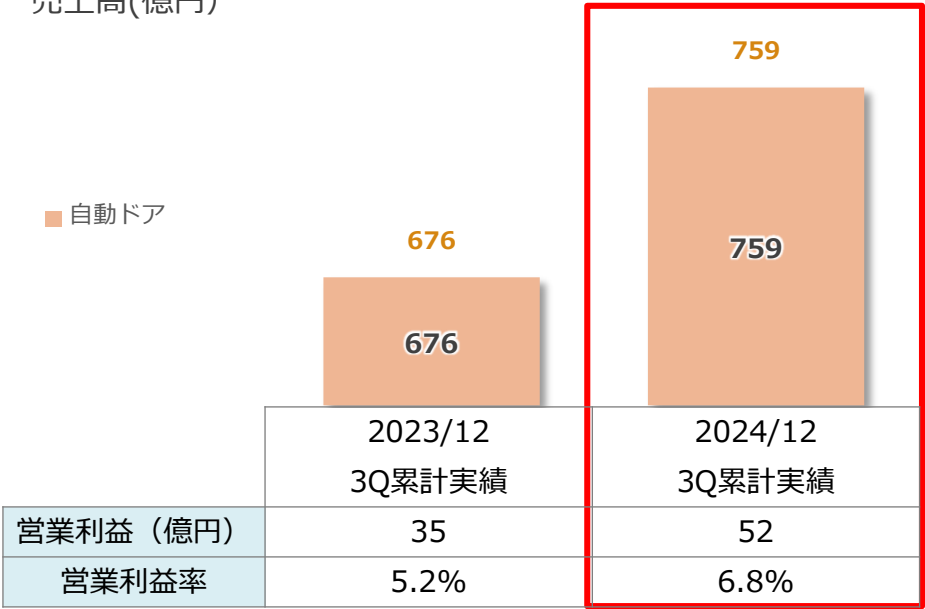
事業	業績
鉄道車両用機器	国内新車向け需要増加および海外MRO増加による増収
航空機器	民間航空機の生産レートアップやMROの拡販により増収 防衛予算拡大に伴う需要増加により増収
商用車用機器	東南アジアの需要停滞も国内需要が堅調に推移し前年同期並み
舶用機器	海運・新造船市場が好調に推移し増収
営業利益	増収による増益や経費発生時期ズレ（3Q→4Q）により増益

■ 通期見通し

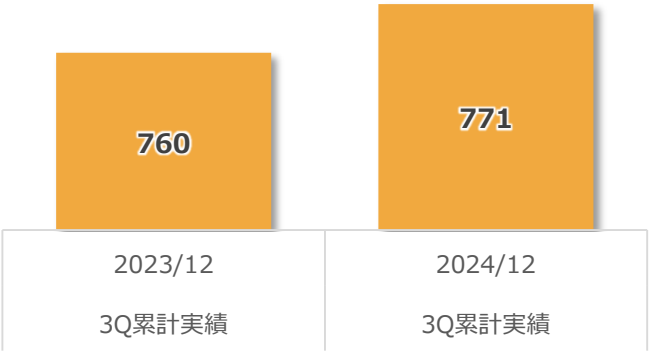
事業	市場環境
鉄道車両用機器	計画に沿って好調を維持
航空機器	民間航空機向けの生産レート変動リスクあり
商用車用機器	国内生産が運転者不足の影響等により低調の兆し
舶用機器	計画に沿って好調を維持

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）

売上高(億円)



受注高
(億円)



セグメント業績（前年同期比）



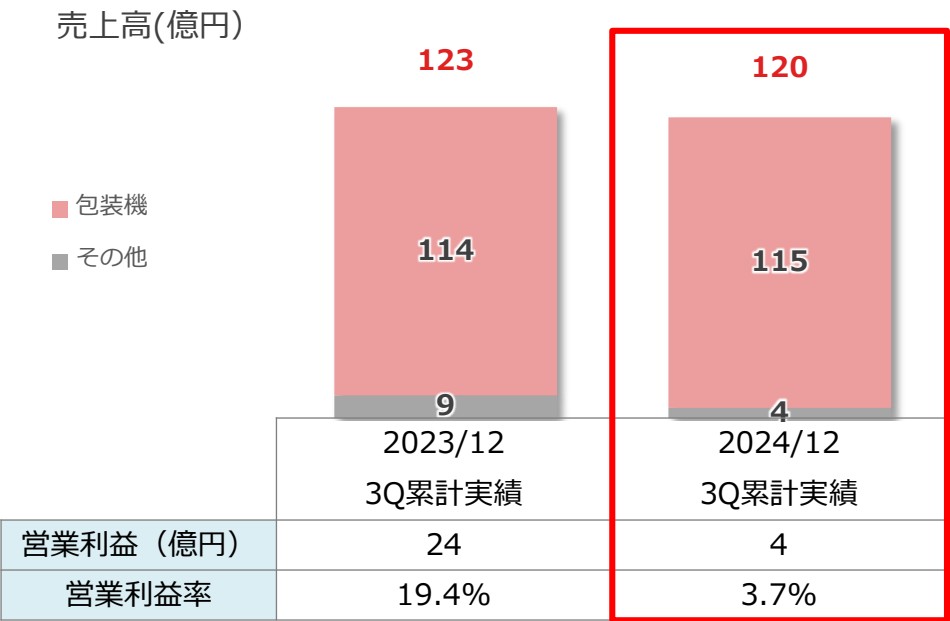
事業	業績
自動ドア	国内： 再開発案件竣工により新規建物用ドア売上が好調であることに加え、MRO拡販を進めており増収 海外： 北米は金融政策の影響もあり需要が低迷したものの、欧州の新規・MROともに堅調に推移し、為替効果を含め増収
PD（プラットフォームドア）	国内外の工事が順調に進捗し増収
営業利益	国内の増収および欧州の構造改革効果を受け増益

通期見通し

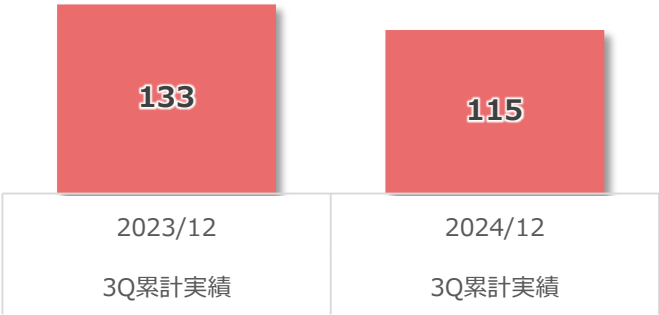


事業	市場環境
自動ドア	国内： 計画通り好調。今後も再開発案件の竣工増加の見込み 海外： 欧州の景気低迷は継続。来期の北米は緩やかな成長基調への転換を期待
PD（プラットフォームドア）	国内： バリアフリー法によりPD工事需要が増加 海外： 案件は多いものの、選別受注を行い収益性を精査

マニュファクチャリングソリューションセグメント（MFR）



受注高
(億円)



セグメント業績（前年同期比）☀️☁️

事業	業績
包装機	海外のプロジェクト減少をMROでカバーし増収
営業利益	2023年は子会社の売却益（約12億円）が発生 2024年2Qに計上した欧州子会社での減損（約7億円）影響を受け減益

通期見通し ☁️

事業	市場環境
包装機	国内外のプロジェクトで時期ズレ(3Q→4Q以降)が発生 食品関連での引き合いの増加が見られ、25年以降は自動化投資拡大に期待

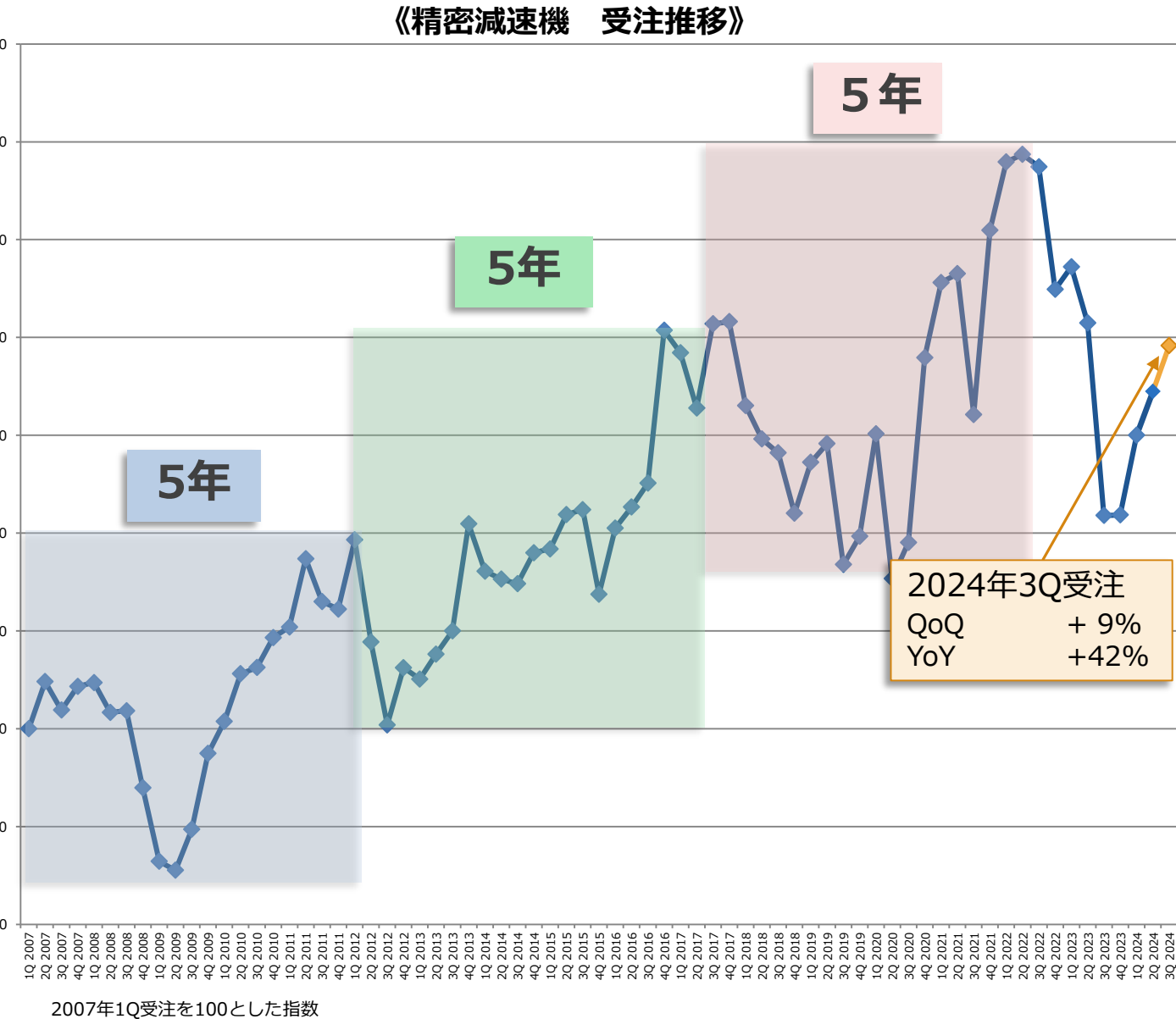
■ 浜松工場での設備投資により資産が増加。

(単位：億円)	2023/12 期末 2023年12月31日	2024/12 3Q期末 2024年9月30日	差異
資産	4,221	4,183	-38
（現預金等）	778	683	-95
（売上債権）	828	740	-87
（棚卸資産）	510	580	70
（非流動資産）	2,012	2,088	76
負債	1,462	1,439	-22
（借入金）	216	309	93
資本	2,759	2,744	-15
（自己株式）	-39	-36	3
（非支配持分）	154	158	4
親会社の所有者に帰属する持分	2,605	2,585	-19
親会社所有者帰属持分比率：	61.7%	61.8%	

設備投資（浜松工場）により現預金が減少し、非流動資産が増加

事業部門	トピックス	内容
ACB	共同開発した 軽量型ホームドアの運用 開始 (2024年6月)	JR西日本グループ様※1と 軽量型ホームドアを共同開発しました。 軽量化することで、製品コスト・設置施 工コストの削減を実現し、ホームドアの 普及による安全なまちづくりに貢献して いきます。 (※1：西日本旅客鉄道株式会社様・株式会社JR西日本テクシア様) 
精密 減速機	AGV/AMR向け 駆動ユニットの採用 (2024年9月)	AGV/AMR※2向け駆動ユニットが、 清水建設株様開発の解体を要せず 作業フロア内を自在に移動できる 『ステージ足場移動台車』へ採用され ました。 当社も建設業界の省人化・効率化に 貢献していきます。 (※2:AGV：Automatic Guided Vehicle（無人搬送車）/ AMR：Autonomous Mobile Robot（自律走行搬送ロボット）) 

Appendix

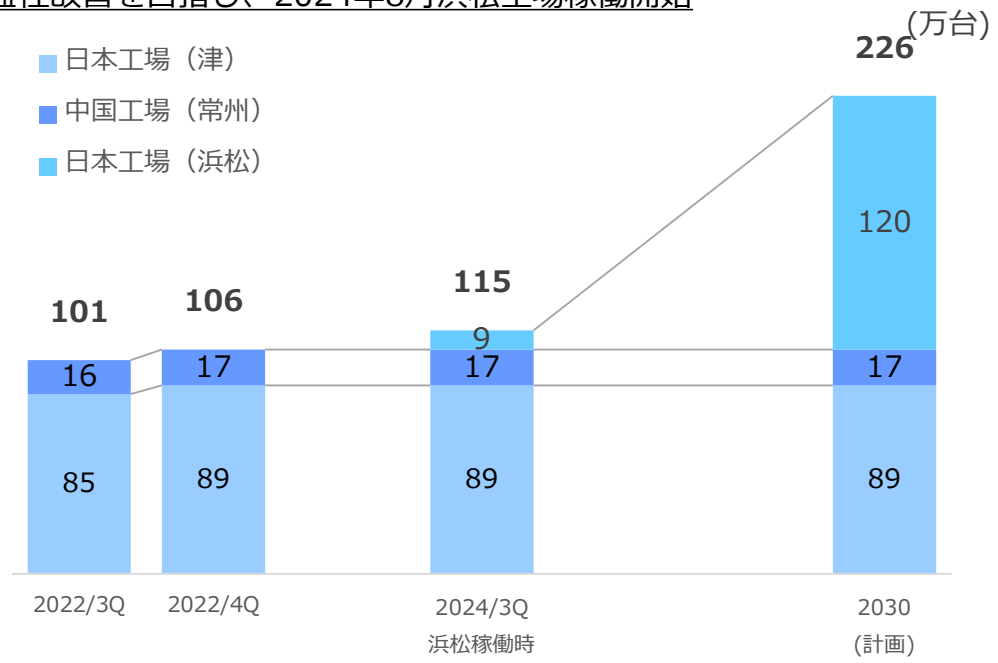


《精密減速機生産能力》
2024年3Q時点

グローバル定時生産能力:115万台/年産

- 日本工場(津) 稼働率: 60%
(定時生産能力89万台)
- 中国工場(常州) 稼働率: 95%
(定時生産能力17万台)

収益性改善を目指し、2024年8月浜松工場稼働開始



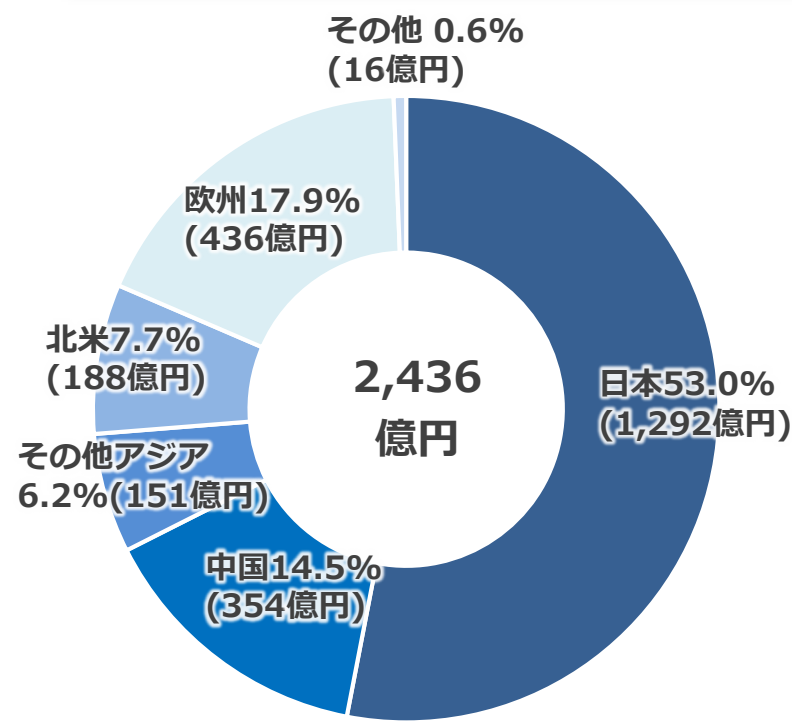
■ 主な設備投資は精密減速機の浜松工場向け

(単位：億円)	2023/12	2024/12	前年同期比
	3Q累計実績	3Q累計実績	
	(A)	(B)	(B-A)
設備投資額	221	144	-77
研究開発費	81	88	7
減価償却費	114	121	7

2024/12
通期計画
進捗率
52%
63%
77%

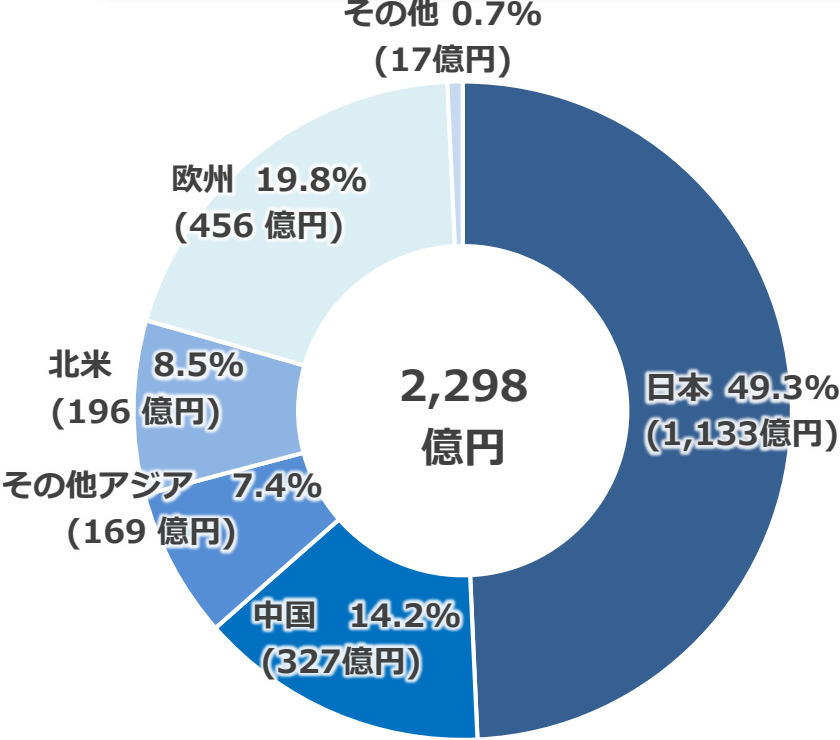
2024/12	2023/12
通期計画	通期実績
275	297
140	110
156	155

2023/12 3Q累計実績



海外売上高	1,144億円
海外売上高比率	47.0%

2024/12 3Q累計実績



海外売上高	1,166億円
海外売上高比率	50.7%

■ 為替レート

(円)	2023/12 3Q累計実績	2024/12 3Q累計実績	2024/12 7/31修正計画	2024/12 下期計画
USD	139.55	151.59	149.53	145.00
RMB	19.74	21.24	20.76	20.00
EUR	151.20	164.61	160.56	155.00
CHF	154.49	172.09	166.28	160.00

■ 為替感応度（為替が1円変動したときの影響額）

(単位：百万円)	2024/12 3Q累計実績	
	売上	営業利益
USD	111	49
RMB	1,257	62
EUR	51	軽微
CHF	181	軽微

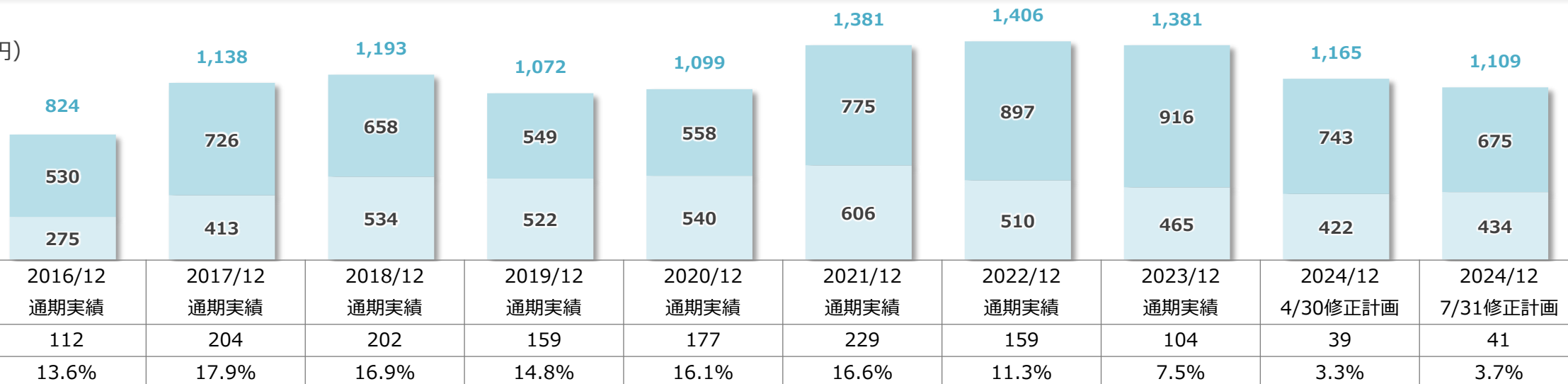
2024/12 7/31修正計画	
売上	営業利益
194	61
1,675	53
84	軽微
259	軽微

コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

Innovation In Action
Vision 2030

売上高 (億円)

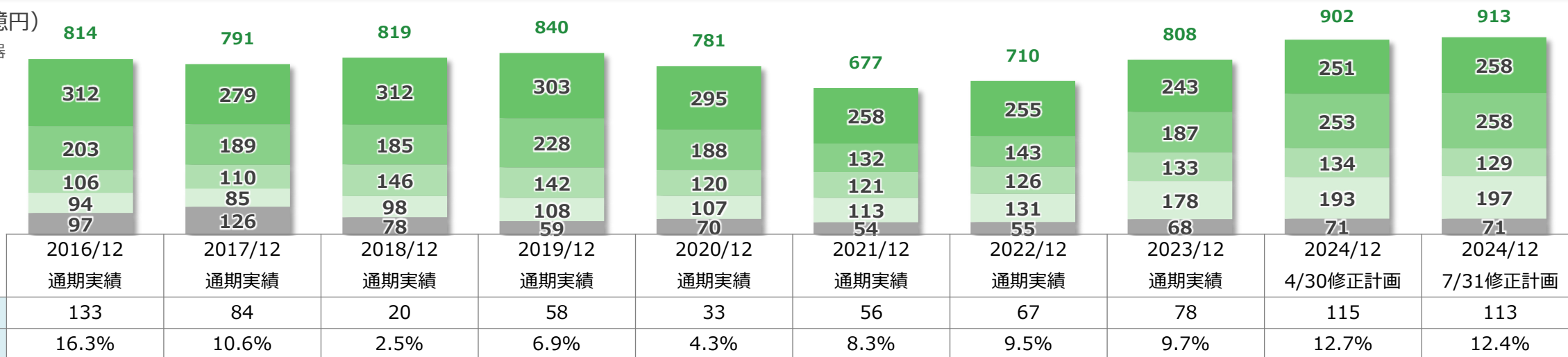
■ 精密減速機
■ 油圧機器



トランスポートソリューションセグメント (TRS)

売上高 (億円)

■ 鉄道車両用機器
■ 航空機器
■ 商用車用機器
■ 船用機器
■ その他

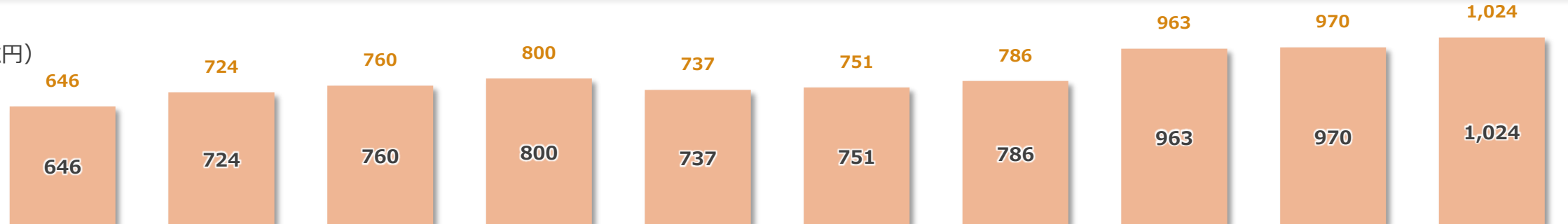


アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

Innovation In Action
Vision 2030

売上高 (億円)

■ 自動ドア



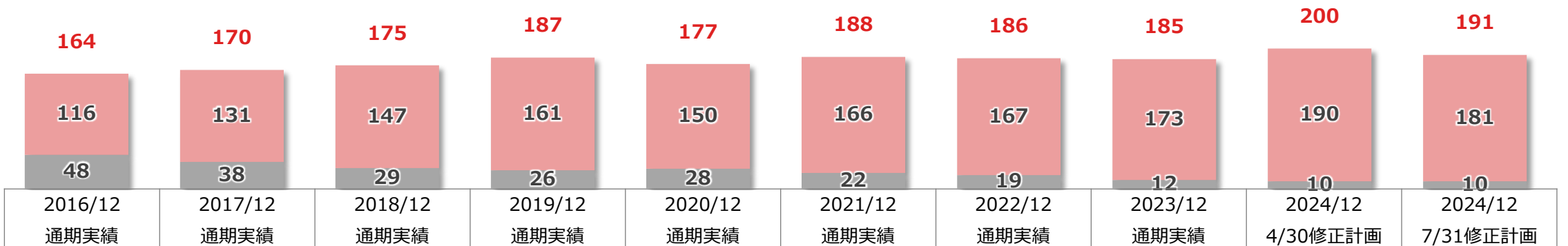
営業利益 (億円)	51	52	46	86	77	76	28	62	80	87
営業利益率	7.9%	7.1%	6.1%	10.7%	10.5%	10.2%	3.6%	6.4%	8.2%	8.5%

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

売上高 (億円)

■ 包装機

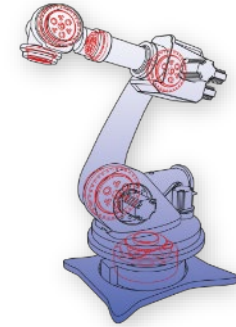
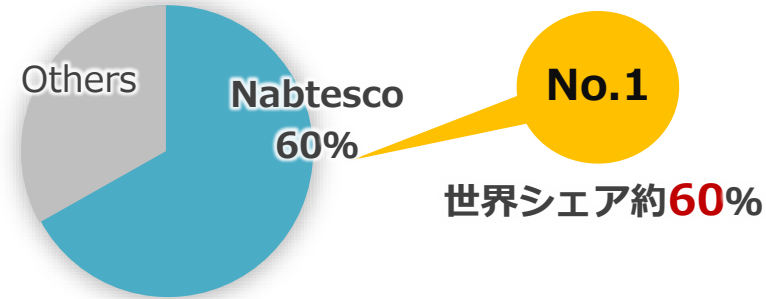
■ その他



営業利益 (億円)	15	20	25	26	23	27	15	34	25	16
営業利益率	9.2%	11.6%	14.0%	13.7%	13.1%	14.5%	8.0%	18.3%	12.5%	8.4%

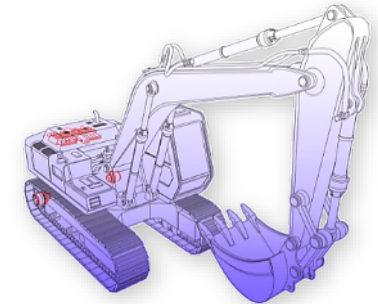
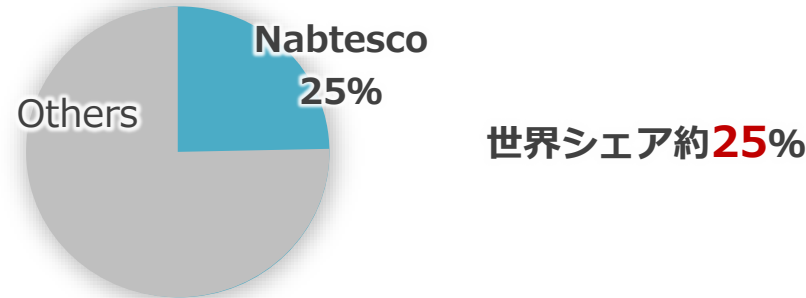
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

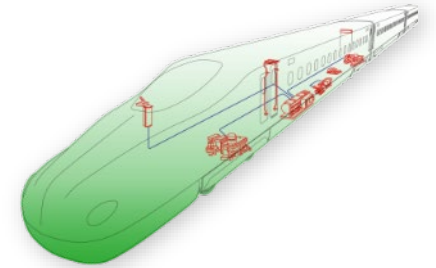
注：シェアは当社推計

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム

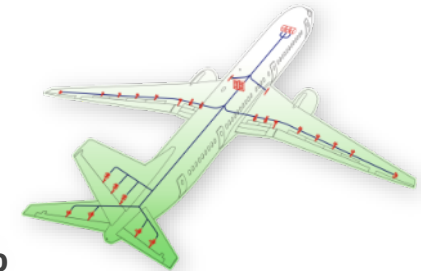
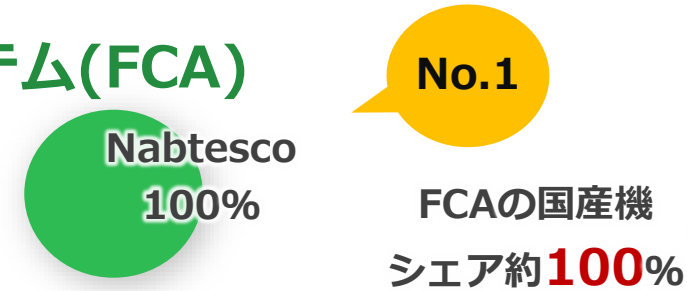


■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、日立製作所、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

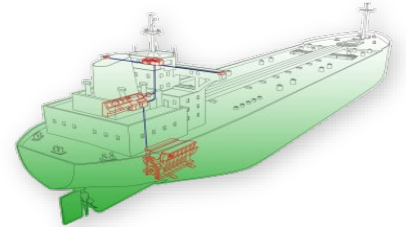


■ 商用車用エアドライヤー



舶用機器

■ 舶用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 舶用機器

ジャパンエンジンコーポレーション、川崎重工業、マキタ、日立造船マリンエンジン、三井E&S
HD Hyundai Heavy Industries (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、Hanwha Engine (韓)

自動ドア

■自動ドア開閉装置



■プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

プラットホームドア：JR・民鉄各社、各国都市交通向け

マニファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■包装機

DM三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。

Nabtesco

